



Rotary

第2730地区

宮崎中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB of MIYAZAKI-CHUO



週報

今月のテーマ 職業奉仕月間

第1415回例会

2016年1月14日 Vol.30/No.26

■本日の例会

第1416回 平成28年1月21日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- 年男 年女スピーチ
…長友春雄 会員、酒匂尚彦 会員
- 会員卓話…池田豊繁 会員

■前回の例会

第1415回 平成28年1月14日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- イニシエーションスピーチ
…黒田健司 新会員、生駒俊明 新会員
- 会員卓話…甲斐孝則 会員

【出席率状況報告】

- ・会員数 53名
- ・出席者 34名
- ・欠席者 19名
- ・出席率 64.15%
- ・13/170補正出席率 64.81%

■会長挨拶

会長 藤原昭公



皆さん、こんにちは。今月は、職業奉仕月間です。今季、新入会の方もかなりいらっしゃいますので、職業奉仕の行動基準でも

ある、四つのテストについてお話をします。1930年頃、戸別訪問食品会社の副社長だったハーバート・テラーは倒産の危機に瀕していたクラブ・アルミニウムという会社の債権を依頼されました。当時は世界恐慌のため多くの企業が倒産の憂き目に苦しんでいました。そんな中、経営が順調だった食品会社の役員としてその手腕を高く評価されていたテラーに銀行からの依頼があったわけです。テラーはクラブ・アルミニウム社の再建を引き受けましたが、会社の厳しい状況に疲弊しきっていた従業員の様子を見て、彼らが取引の際、正しく考え、行動するための簡単に覚えやすいすべてのことに応用できる行動基準、倫理基準が必要だと思いました。そして、できたのがこの「四つのテスト」でした。「四つのテスト」はクラブ・アルミニウム社の経営方針となりましたが、全ての仕事に当てはめることが厳しい時もありましたが、できるだけ忠実に実行することによって、取引先や消費者の信頼を取り戻し、経営が回復してきました。そして、5年間で40万ドルの借金を返済することができました。また、次の15年間で100万ドルの株式配当を行い、会社の純資産は750万ドルにまで達しました。

その上、この四つのテストは仕事の上だけでなく、一般の人間関係にも大いに役立ちました。そして、この四つのテストは1940年代にはキリスト教勤労者財団を通して世界中に認められるようになり、1942年に四つのテストを使う権利を国際ロータリーに与え、1954年、テラーが国際ロー

タリー会長になったときにその著作権をロータリーに譲りました。以来、百以上の国々で翻訳されています。我が国では、簡単でわかり易い言葉に翻訳されていますが、作者の意図が正確に反映されていないという意見もあるようです。それは、「四つのテスト」が従業員の職務遂行上の行動基準である、という捉え方によるものだと思います。確かに、テラーが、当初「四つのテスト」を作った目的は、クラブ・アルミニウム社の従業員の現実的商取引基準とすることでした。しかし、テラーは後に「仕事のみならず、私生活においても彼らに四つのテストを用いて欲しかった。」と述べています。実際に、一般の人間関係の上でも、人生のあらゆる局面でも十分有益な基準として機能していました。そうした事情で我が国でもこのような翻訳になったのではないのでしょうか。

■幹事報告

幹事 田中 寿



- ①2月4日クラブ協議会を開催いたします。会場はシーガイアコンベンションホールです。18:00から開催です。追って該当する会員には書面をもって案内いたします。

■委員会報告

会長エレクト 香川美穂子



次年度理事に山下洋一郎会員が決まっておりますが転勤のため、退会となりましたので、職業奉仕委員長 江口健一会員に決まりました。

■増強委員会

委員長 坂本弘史

本日のボックスに会員増強（新会員勧誘）のお願いを入れました。当クラブが4月9日に創立30



周年を迎えますので少しでも多くの会員を勧誘し、新たなスタートを切りたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

■出席委員会

委員長 草田哲也



1月14日は出席100%例会になっております。本日欠席の方にお声掛けをしていただき、皆様と共に100%を目指したいと思いますのでご協力をお願いいたします。

■米山奨学金授与式

バトムンク
バートルスレン君



■ハッピーボックス (敬称略)



●松山春喜…結婚記念日祝のお花を戴きました。家内が大変喜んでいました。36回目になります。



●香川美穂子…昨年完成の自楽堂「サルマンジャー」のことをタウン誌2社そして「テレビ宮崎」が取材して下さり好感を得ている様です。有難く思い「ハッピー」致します。尚、笑事も「県産のズギ」を使っていると言う事で気に留めて下さった様で今日3時には県庁の関係者も来訪です。

■出席委員会報告

委員長 草田哲也

◆12/17メイクアップ者名(敬称略)

井上真由美、川崎新一、黒木陽子、新地康宏
日高海雄、三輪修珍、湯浅敏幸

■イニシエーションスピーチ 黒田健司 会員



歴々たる、この宮崎中央ロータリークラブに入会させて頂き、3ヶ月が経過するところとなります。未だ、自分が何をしたらよいのか、またその認識も備わっていないに等しいものと考えております。

ここより更に、皆様との会話を通じながら調和し、様々の事を学んで参りたいと思っております。私は、昭和39年4月に宮崎市古城町に生をうけ

ました。自然に恵まれた中で、水に戯れ、土の匂いを嗅ぎ、素朴にのびのびと幼生期を過ごしました。私が中学に進学する時期に父が他界、その後、母がその手一つで3人の子供を育てる過程がどんなに過酷なものであったか、今、子の親となり改めてその逞しさ、温もりを思うところです。

市内の高校を卒業、目指す大学への受験に桜は咲かず、しかしその頃知ったある興味を引く場所(目標)が在り、そこを目指す意志が固まりました。それは、北海道：富良野に存在し、倉本聰氏主宰の俳優と脚本家の育成をする目的の「富良野塾」。昼間は広大な農地での農作業を手伝い、夜に受講するといったユニークなスタイル、生徒の手で作上げた丸太小屋の塾に強く意欲をかきたてられたものです。母に言えず、新聞奨学生として千葉の専門学校に籍をおく事でフィルターとしながら、ほぼ毎年の受験も、合格を得ることなく、大切な方との結婚を機にこれを断念…既に動いていた(平成元年～)花の総合商社：(株)比谷花壇において、17年に渡り在籍し、ひいては家庭の安定に務めて参りました。

当該社は、主にホテルにインテナントし、ブライダルから館内におけるあらゆる場面の装花、装飾を担当する事業主幹があり、私も少なからず現在に通じる基礎を学ばせて頂きました。元々、独立志向が強かった事に加え、祖母、また母の高齢を勘案し10年前に帰郷いたしました。

3年程、地元の同業種を生業とする会社に籍をおき「宮崎」における業界の立ち位置、またその文化のありようを体現、その後(2009年～)現店舗を開業いたしました。開業より、苦戦続きも多くの方々のご支援を賜りながら本日があるとつくづく回想するところです。これまでの、社に帰属し給料を頂いていた当時の葛藤や、疑問、そして現在の当時とは明らかに違う危機意識との対峙、そして自分を見失わない軸の必要とその覚悟。どちらも比較できるものではないとは考えながら、今日もなお格闘の毎日です。シンプルな思考と、その確実な実践…言うは易し、行うは難き。そもそも、シンプルな思考に辿りつくまでも揺るぎない意志と感覚を要すものであり、確実な実践も、組織を以って戦う場合の人財の確保・育成、また共有すべき意識、スキルの確立…と、多くの事実を理解する必要があるわけです。

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市富田町10-25 富田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/藤原昭公 副会長/香川美穂子 幹事/田中 寿
クラブ会報委員会/委員長:新地康宏 副委員長:江口徹一 委員:鈴木克信、長友久人、小西明美、川崎幸幸